

# 令和5年度しがこども体験活動指導者研修会

子どもの体験活動に関わる団体、施設、指導者等が一堂に会し、講演や意見交換等を通して、子どもの体験活動の充実と支援者のスキルアップを図ることを目的として研修会を実施しました。

## 【日時】

令和5年5月31日（水）  
13:30～16:30

## 【会場】

滋賀県庁東館7階大会議室  
任意の会場（オンライン参加）

## 【対象】

自然体験活動の企画・運営者等  
しがこども体験学校登録団体  
市町教育委員会生涯学習・社会教育主管課  
公民館、生涯学習関連施設の職員  
社会教育関係者、学校教育関係者

## 【参加者】

会場参加 14名、オンライン参加 36名  
計 50名

## 【内容】

中野氏の講演では、自然体験活動が子どもたちにちにとってどのような意味があり、また、子どもたちにどのような価値を与えられるかについて、様々なデータを使って、コロナ禍でのキャンプの傾向やコロナウイルスによる影響などをお示しいただくなどしながら、詳しく御説明いただき、体験活動の良さについて、改めて考え直す機会となりました。また、自然体験における気づきや価値についても御示唆いただきました。参加された皆様からは、「自然体験の価値や重要性について、改めて理解することができました」「子どもの成長と自然体験について、再確認できました」「体験活動が、子どもの自己肯定感や道徳観、探求心など生きる力を養うために重要であることに改めて気づきました」など、大変好評でした。最後には、「子どもの体験は、石に刻まれ 大人の体験は、氷に刻まれる」と、子どもたちにとっていかに体験が大切かを伝えてくださいました。

後半は、会場へ来場いただいた方だけにはなりませんが、2グループに分かれて、情報交換を行いました。いろんな団体の方、職種の方とグループになり、学校・地域・団体・企業との連携、周知・広報の方法について、また、人材の確保、養成についてなど、グループで交流しました。

グループ交流の後には、各グループからの出た意見を発表してもらい、発表の内容を受けて、講師の中野先生からから助言をいただきました。参加者にとっては、今後の活動や取組のヒントを得る良い機会となりました。

日程	内容
13:00	受付（オンライン接続開始）
13:30	開会行事 開会あいさつ 日程説明
13:40	講演 「自然は、生きる教えに満ちている」 講師：びわこ成蹊大学 副学長 中野 友博 氏
14:55	説明：自然体験活動安全管理マニュアル 作成の手引きについて
15:05	休憩
15:15	グループ交流、活動等の情報交換
16:00	グループより発表 講師より助言
16:30	閉会



## 【参加者の声】

＜参加者アンケート結果 より＞ ※ 回答分の集計（回答者34名）

○「講演」について				
とても良かった	良かった	あまり良くなかった	良くなかった	無回答
22名(64.71%)	11名(32.35%)			1名(2.94%)

### ＜講演についての感想（抜粋）＞

- 自然体験が子どもに良い影響を与えるよう、大人と一緒に感動し体験を共有することが重要だということが聞いて良かったです。このようなことを意識して子どもたちに接したいと思いました。
- 自然体験での重要な要素と価値について、様々なデータをもとに、詳しく知ることができました。ストレッチゾーンを増やせるように、日々取り組んでいきたいと思いました。
- 自然体験は非日常的で癒しの力があり、子どもにとっては大人以上の価値があるという事を再認識させて頂きました。自律性、協調性、自己肯定感等様々な良い影響を及ぼす『体験活動』は当財団においても非常に意味の大きいものとして捉え実施していきたいと思えます。
- 自然体験活動がどのような効果があるのかについて、客観的データ（調査結果等）を踏まえつつ言語化していただき、よく理解できました。普段の活動に活かしていきたいです。
- 幼少期の自然体験がその後の豊かな感性や人間性を育むことを改めて教えていただきました。多くのお子様にもそのような感動体験をしていただける施設となるよう努力したいと思えます。
- 自然体験活動が自尊感情や生きる力になっていると知り、大切なことだと分かりました。大人は「汚い」、「危ない」と言ってしまい、子どもから体験することを遠ざけているかもしれません。これからを生きる子どもたちのためにも自分を大切にして、仲間と協力できるような活動をしていきたいと思いました。



### ＜グループ協議についての感想（抜粋）＞

- 色々な職種の方と意見交換ができて、新しい気づきを得ることができました。
- 各団体や所属の中で様々な意見を聞くことができ、保育の現場だけではなく、様々な場面で活用できると感じた。
- 知らない情報がたくさんありました。日々アンテナをはって、情報を収集したいと思いました。



**「すまいる・あくしょん」の取組を広げよう!**



【子ども】わくわく感動する気持ちを持とう

【大人】文化・芸術・自然・社会に触れる体験を増やす

